

# 日本文化研究コーパスの紹介

本学に蓄積されている日本研究関係の知的資源を活用して、「日本文化研究コーパス」を作り、電子メディアを利用して広く海外に発信することで、国際的情報伝達のノウハウを学び、情報伝達スキルを練磨することを目的としています。

この実習の成果として、本年度（本報告書作成時点まで）は、『お茶の水女子大学百年史』と『保育唱歌』が本学ホームページ内の「日本文化研究コーパス」に掲載されました。

★日本文化研究コーパスは、本学図書館内TeaPotで公開しています★



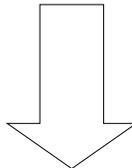
<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/4566>

## 1. 『お茶の水女子大学百年史』の閲覧

The screenshot shows the TeaPot web library interface. The search results for the Japanese Cultural Research Corpus are as follows:

発行日	タイトル	著者	ファイル
1984年5月31日	お茶の水女子大学百年史	「お茶の水女子大学百年史」刊行委員会	View! View! View! View! View! View!
1984年5月31日	お茶の水女子大学百年史(テキスト版)	「お茶の水女子大学百年史」刊行委員会	View!
1883年	保育唱歌	清水, たづ	View! View!
2008年6月	明治16年清水たづ譜「保育唱歌」解説	ヒガシモト, リカ, 東元, じか	View!

上記のうち、「お茶の水女子大学百年史」をクリック



お茶の水女子大学 総合研究センター Teapot  
Ochanomizu University Web Library Institutional Repository

お茶の水女子大学 Ochanomizu University

Teapot - Ochanomizu University Web Library Institutional Repository >  
A 特別コレクション >  
大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的価値を伝える力の育成」 >  
日本文化研究コース >

Teapotメニュー

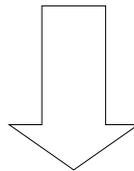
- ホーム
- ブラウズ
- 主簿割
- タイトル
- 著者
- 資料種別
- 日付
- ダウンロード数
- Top10(月)
- Top10(年)
- OSpaceについて

Teapotに新しく追加した  
アイテムはこちらへ Click!

このアイテムのファイル:

ファイル	記述	サイズ	フォーマット
ochadaihyakunensh01.pdf	表紙・目次	20.73 MB	Adobe PDF
ochadaihyakunensh02.pdf	第一章 東京女子師範学校時代	29.41 MB	Adobe PDF
ochadaihyakunensh03.pdf	第二章 女子高等師範学校時代	23.06 MB	Adobe PDF
ochadaihyakunensh04.pdf	第三章 東京女子高等師範学校時代	61.87 MB	Adobe PDF
ochadaihyakunensh05.pdf	第四章 お茶の水女子大学の成立	89.52 MB	Adobe PDF
ochadaihyakunensh06.pdf	第五章 お茶の水女子大学の発展と現状	29.87 MB	Adobe PDF
ochadaihyakunensh07.pdf	第一章 文教育学部	39.46 MB	Adobe PDF
ochadaihyakunensh08.pdf	第二章 理学部	25.56 MB	Adobe PDF
ochadaihyakunensh09.pdf	第三章 家政学部	19.25 MB	Adobe PDF
ochadaihyakunensh10.pdf	第四章 附属施設	27.54 MB	Adobe PDF
ochadaihyakunensh11.pdf	第五章 附属学校・幼稚園	49.91 MB	Adobe PDF
ochadaihyakunensh12.pdf	第六章 校友会	8.72 MB	Adobe PDF
ochadaihyakunensh13.pdf	年表・付表・付図	20.08 MB	Adobe PDF

タイトル: お茶の水女子大学百年史  
 その他のタイトル: オチャミズ ジョーン ダイカクヒャクネンシ  
 著者: 『お茶の水女子大学百年史』刊行委員会  
 発行日: 1984-05-31  
 出版者: 『お茶の水女子大学百年史』刊行委員会  
 資料種別: Book



各ページがpdf形式で閲覧できます。



2. 『保育唱歌』について  
 (『保育唱歌』の閲覧)

お茶の水女子大学 教育・研究成果コレクション  
**TeaPot**  
 Ochanomizu University Web Library - Institutional Repository

お茶の水女子大学  
 Ochanomizu University

TeaPot - Ochanomizu University Web Library Institutional Repository >  
 A 特別コレクション >  
 大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」 >

Annual Report2007

詳細教育コース  
 特別コンテンツ

日本文化研究コーパス  
 大学版OP「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」

〈対話と深化〉の次世代、  
 女性リーダーの育成

「心」を育てる  
 女性人材の育成

最新登録アイテム

明治15年清水たづ譜  
 「保育唱歌」解説

保育唱歌

お茶の水女子大学百年  
 史(テキスト版)

お茶の水女子大学百年  
 史

RSSフィード

TeaPotメニュー

- ホーム
- ブラウズ
  - 主題別
  - タイトル
  - 著者
  - 資料種別
  - 日付
- ダウンロード数
  - Top10(月)
  - Top10(週)
  - DSpaceについて

TeaPotについて知り  
 たい方はこちらへ  
 Click!

検索対象: 日本文化研究コーパス

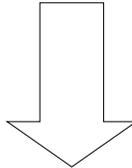
検索語  検索

あるいは、ブラウズ

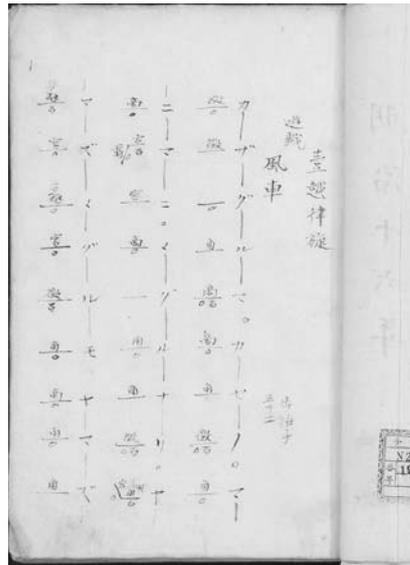
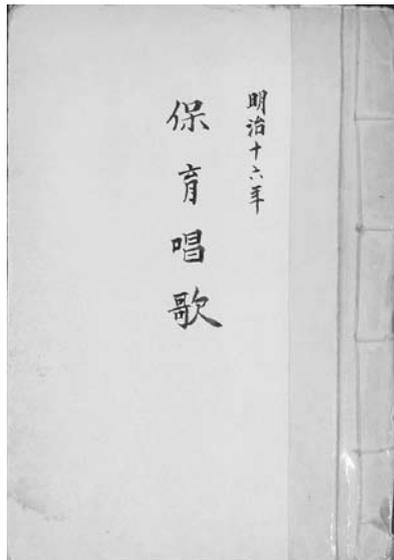
アイテム表示: 1-4 / 4.

発行日	タイトル	著者	ファイル
1984年5月31日	お茶の水女子大学百年史	「お茶の水女子大学百年史」刊行委員会	<a href="#">View!</a> <a href="#">View!</a> <a href="#">View!</a> <a href="#">View!</a> <a href="#">View!</a> <a href="#">View!</a>
1984年5月31日	お茶の水女子大学百年史(テキスト版)	「お茶の水女子大学百年史」刊行委員会	<a href="#">View!</a>
1883年	保育唱歌	清水, たづ	<a href="#">View!</a> <a href="#">View!</a>
2008年6月	明治15年清水たづ譜「保育唱歌」解説	ヒガシモト, リカ; 東元, リカ	<a href="#">View!</a>

上記のうち、「保育唱歌」をクリック



保育唱歌の画像や保育唱歌一覧の各データをpdf形式で閲覧できます。



〈『保育唱歌』の解説〉

『保育唱歌』明治十六年清水たづ譜

保育唱歌は、東京女子師範学校（現お茶の水女子大学）摂理であった中村正直（東京女子師範学校就任期間：1875年（明治8）11月－1880年（明治13）5月、女子高等師範学校就任期間：1890年（明治23）3月－1891年（明治24）6月）が宮内省式部寮雅楽課に依頼し、同課の伶人たちによって1877年（明治10）から数年間にわたって創作された約100曲の唱歌である。保育唱歌の楽譜は、雅楽家や保育関係者によって書き写され、まとめられたものが今に伝えられている。それらは、雅楽の伝統的な記譜法に倣った墨譜で、その曲調も雅楽の伝統に大きく依っている。他の保育唱歌譜、および先行研究によれば、保育唱歌の伴奏には主に和琴と笏拍子が用いられた、と考えられている。

ここに挙げた保育唱歌譜は、今日まで伝えられている手書き譜による曲集の一つであり、お茶の水女子大学附属図書館の倉橋文庫に所蔵されている。この曲集は、1883年（明治16）、東京女子師範学校に在学中であった清水たづが、宮内省伶人から修業した保育唱歌を記したものと考えられ、85曲が収められている。清水たづ（のち、下田たづ）は、1885年（明治18）7月に東京女子師範学校本科を卒業、大阪市西区幼稚園保姆、東京市麹町区麹町女子小学校訓導を経て、1887年（明治20）から1914年（大正3）まで27年間、母校附属幼稚園に保姆及び生徒監として奉職している。

保育唱歌譜は、「宮・商・角・徴・羽」等の博士を用いて音高の指示、旋律の動き等を示している。たづの保育唱歌譜には、曲題以外の項目（歌詞の出典・作詞者、「遊戯」「五声唱歌」「七声唱歌」「高等の部」の四分類、調及び旋法、拍子、撰譜者及びその等級、伴奏楽器等）の記載は、すべての曲に書かれているわけではない。

たづは、「十二律名」、「十二律活用」、「五声」、「七声」の説明を記しており、「五声」とは、「宮・商・角・徴・羽」の5つ、「七声」とは、「呂」においては上記の5つに「嬰徴」と「嬰宮」を、「律」においては「嬰羽」と「嬰商」の2つを加えた7つの音によって歌われるものであることが記されている。「遊戯」「高等の部」についての説明は書かれていないが、「遊戯」とは、動きを伴いながら歌うもの、「高等」とは、「呂」の「宮・商・角・徴・羽」を用いた五声唱歌と、七声唱歌の中でも難しいものと考えられる。

【文責：お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程在籍 東元 りか】